

Bridolly

text and
paintings by
Kenji Shimizu

vol. 5 月刊ブリドリー



eye-whale 6号



第五回

志水堅二 しみずけんじ

1971年名古屋市生まれ。オリジナルキャラクター『ブリドリー』をモチーフに絵画、立体などを制作。東西のアートフェア、画廊、百貨店などで個展多数。

オフィシャルサイト

<http://www.kenji-shimizu.com>

しょう しん たい にん 澄 心 体 認

「ここはどうしてこの色なんですか?」

「これにはどういう意味があるのですか?」

と質問されることがある。理由がある場合はいいが感性にまかせて描いた場合は答えに困る。

なんとなく描きたかったからというのが正直な答えだろうか。

「構図が計算されていますね。」

というのと言われることがあるがこれまた計算ではなく感性だ。

もちろん構図は練る。色や形のバランスを熟考したりもする。

が、数ミリ単位で絶対こうでなくてはならないというものでもない。

なんなら無くてもいいのかもしれない。

正解はなく、良くも悪くもそれが作者のセンスである。

鑑賞者には絵を読み解くのではなく素直に感じてもらいたい、と願う。

ジョン・レノンは歌詞に共感したファンにこう言った。

「僕は言葉で遊ぶんだ。曲に意味などない。言葉を選びひとつに結び付けるんだ。

意味はあったりなかったりだ。」

僕は言う。

「色やデザインで遊ぶんだ 意味はあったりなかったりだ。」

Shimizu 